



学校運営協議会だより

令和8年1月30日(金)
国立市立国立第四小学校
校長 牧野 陽一郎

合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい 国立第四小学校」

令和7年度 第5回学校運営協議会を開催しましたので、議事の概要を報告します。

開催日時 : 令和8年1月23日(金) 9:30~11:30
会場 : 国立第四小学校 第一会議室
出席者 : 緑川隆(会長) 日吉友里奈(副会長) 牧野陽一郎(校長) 榎本七重 立入秀子
関武彦 齋藤裕子 松ノ木由季
清原周栄(副校長) 柏木光晴(主幹教諭)
地域学校協働活動推進員: 日吉友里奈

《主な協議内容》 司会: 緑川隆(会長) 記録: 柏木光晴(本校CS推進委員)

- 学校運営協議会連絡会 研修報告について
- 令和8年度学校経営方針、令和8年度教育課程の編成について
- 学校評価報告書について

※以上協議内容について、学校運営協議会は承認しました。

《主な意見》

- 学校運営協議会連絡会 研修報告について
学校運営協議会の招集権は会長の専権事項であることを確認。
協議会は「承認する場」だけではなく、承認した上で一緒に取り組む
“熟議の場”にすることが大切である。
授業参観の際は、学校側から参観の視点を示してほしい。
協議会委員は、地域の当事者として関わるのが重要である。
「困っているときは助ける。辛口の友人として支える」という関係性が望ましいとの助言があった。
- 令和8年度教育課程の編成、令和8年度学校経営計画について
 - (1) 支援体制について(スマイリー支援)
スマイリー支援は全体の支援人数の枠の中で配置が決まる仕組みであることを確認。
保護者の立場から、「年度途中の申請が多いことを考えると、1年生への支援を手厚くできないか」という
要望が出された。毎年、1年生への支援を行っている。
大人が寛容な姿勢で関わることで、子供同士の関係もより寛容になるのではないかと。
 - (2) 「地域とともにある学校づくり」について
総合的な学習の時間の再構築を進めている。
総合的な学習の時間を専門的に学んでいる教員が中心となって取組を推進している。
- 学校評価報告書について
 - (1) 評価の仕方について
「どの視点で見ればよいか分かりにくい」。「きまり」といっても範囲が広く項目を限定した方が答えやすい。
見ている場面が限られているため、一部の様子だけで評価しているという自覚がある。
 - (2) 挨拶について
以前は下を向く児童が多かったが、最近は笑顔であいさつできる児童が増えてきた。
挨拶をしない子も、目を合わせてくれるようになってきている。
地域から声をかけると、挨拶が返ってくることが多い。
 - (3) 子供の様子の変化
先生方が一人一人をよく見ていることが伝わってくるので、今後も続けてほしい。
5年生の子供たちの北福祉館での発表などから、プレゼンテーション力の向上を感じた。



次回の学校運営協議会は、令和8年2月18日(水)9時30分より国立第四小学校で開催します。